

小工事にも獨創あれ

工事現場の施工に熱心であれば、些細の處にも何等かの獨創が出来る筈である。獨創であるつもりでやつてゐる事が應々他人の特許として既に發表せられてゐる場合もある。然しそんな事に心配して居ては新しい事は出来ない。努めて平生から自分の専門を博く知ると同時に他人の工事實例を見るべきである。

經濟封鎖されても、國產振興をするにしても、常に獨創に生きる技術家の一人も多からん事を今や最も必要とする。那波博士の言に我等も特に感ずるものである。

アークウエルト・ジョイントの試験設備

東京市水道局擴張課長小野基樹氏は、兎角平凡に流れんとする我工事技術界に對し常に何等かの光明を與へらるゝものの如くである

先月竣工したる和田堀淨水池の鐵筋コンクリートの一大タンクの如き設計施工俱に斯界の新鋭工事として注目さるゝものであるが、本號に掲載せる水道鐵管のジョイント試験設備の如きも狭小なる現場の溝内にて、直徑3米10の大鐵管をアーク・ウエルドして直に其場で水壓試験をなすもので、然も其試験設備の一部が永久に防水的副作用をなす事となる。

以上の施工が簡單にして容易なる、然も耐震的の接手として効果の確實なる點は恐らく世界的の新考案と言ふべきであらう。

臺灣の明治橋に新範例

臺灣總督府交通局道路港灣課に於ける、國庫事業として目下施行中の明治橋工事は、日本に於ける近世橋梁工事中の最も傑出したるもの一である。

鐵筋コンクリート固定拱橋徑間54米も大であるが、河の水深大なる故に、足場を用ひず組立たる拱鐵骨を船に浮べて處定の位置に設

置し、次にコンクリートの施工に際し、型枠を支持するに足場を設けず拱鐵骨に型枠を釣り着けたる如き、寔に經濟的工法の新範例と云ふべきである。混凝土配合に就ては合理的設備の下に常に實際の強度を均一ならしめて橋全體を確實ならしめた。本工事が萬一に内地で施工せらるゝものならば、代表的工事として斯界に多大の注意を喚起し、見學視察の好資料であるが、實際を視る爲に臺灣まで出掛けるのも容易でない、幸にして當局者の好意により、誌上に其全容を視る事を得たるは、讀者と俱に我社同人の欣快に耐へざる處である。

磐城炭礦鑿岩競技

トンネル工事が下火になつたからとて、必ずしも研究題材なくなつたわけではない。本號紹介した磐城炭礦の鑿岩競技なども最近に於ける面白い技術的實行の一である

一分間に三呎も鑿孔する位であるから岩質は軟く、クリ粉が多くスチール・ビットの孔にも研究を拂はれた。一般に鑿孔の樂な處ではクリ粉にスチールを捕られて所謂タケノコとなる場合が多い、其處はコツである中々文字では書けない、讀者に於ても種々實驗の結果を發表され度いものである。

一箇所で二百萬馬力

水量22萬個を利用するセントローレンス河の發電所は、一ヶ所にて出力實に二百萬馬力と云ふ巨大なるもの、恐らく空前にして亦絶後であるかも知れない、斯る大規模の水力發電所が我國の如き小規模の工事に直に参考とする事は出来ないとしても、大規模なる丈けに其設計施工には幾多の苦心と特長とがあらう。

本發電所は目下尙ほ工事中にして、本稿は其計設者 W. S. Lee 氏より贈り來りし報告書の一部である。